

ブロイラー鶏ふん堆肥に尿素を添加した ペレット肥料の開発

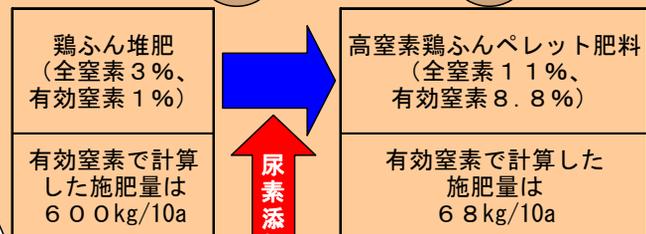
目的と特徴

- ・鶏ふん堆肥を活用し、低コストで化学肥料並の取り扱いが可能な鶏ふん肥料を開発しました。
- ・ブロイラー鶏ふん堆肥（普通肥料：加工家きん糞肥料）と尿素を重量比8：2で混合しペレット化しています。
- ・全窒素含有率は11%で、当作に効果のある有効窒素は8.8%です。リン酸は3%、カリは2%とバランス的にはL型で、リン酸やカリが既に蓄積している圃場での利用に適し、環境への負荷を低減します。
- ・ブロードキャスターのほか、畦内部分施肥機などの省力機械でも精度良く散布できます。



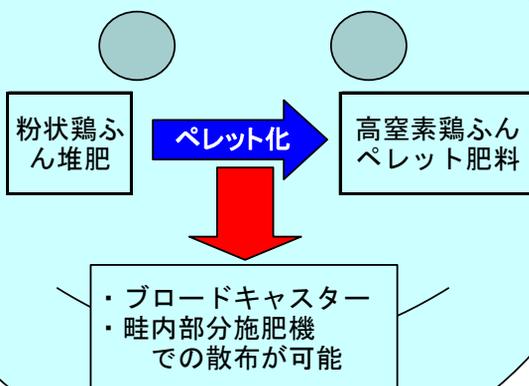
畦内部分施肥機(キャベツ)

化学肥料並のハンドリング (例：水稲、基肥6kgN/10a)



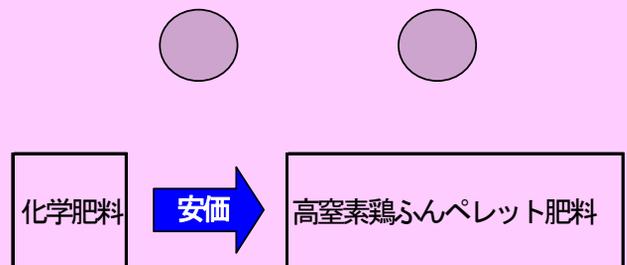
メリット 3兄弟

機械施肥適合性



低コスト化

〔例：水稲、肥料費の3～4割低減(試算)〕



成果

- ・高窒素鶏ふんペレット肥料
保証成分； 窒素：リン酸：カリ = 11：3：2(%) 有効窒素8.8(%)
形状； 直径：5.5～6.0mm、長さ：9.5～11.0mm
- ・水稲およびキャベツの栽培試験の結果、収量は化成肥料と同等です。

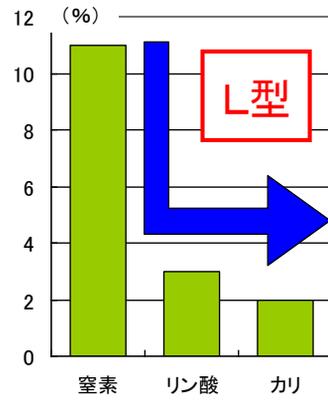
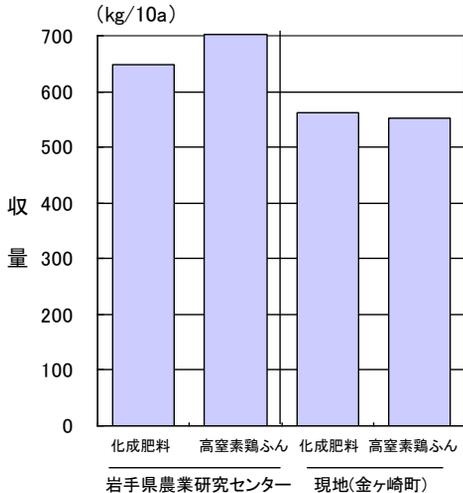
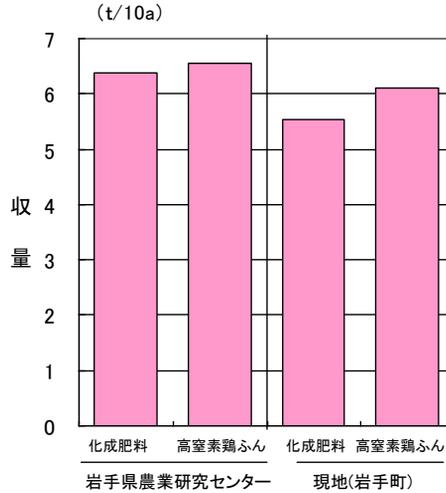


図1. 高窒素鶏ふんペレット肥料の成分(%)



水稲



キャベツ

図2. 高窒素鶏ふん肥料(粒状品)の収量性(平成24年、全面施肥)

表1 畦内部分施肥機による投下量(平成25年)

試験場所	肥料	有効窒素施肥量 (kgN/10a)	肥料投下量 (現物kg/10a)		実投下率 (%)
		目標	目標	実績	
岩手県農業研究センター	化学肥料	7	47	45	97
	①高窒素鶏ふんペレット	7	68	62	92
	②高窒素鶏ふんペレット	13	125	130	103
現地(岩手町)	化学肥料	13	84	88	104
	③高窒素鶏ふんペレット	13	113	113	100

・施肥機械：畦内部分施肥機(UBS21、I社製)
 ・有効窒素：作物が直接吸収・利用が可能な形態の窒素

対象作物、普及対象

- ・水稲・キャベツ、全国

対象農家

- ・水稲、キャベツ栽培農家

必要な道具

- ・ブロードキャスター、畦内部分施肥機(キャベツ)

関連HP(研究活動紹介、らぼ・れたあ)

- ・<http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/>

その他

- ・本肥料は、(有)三沢地域環境保全組合およびプライフーズ(株)と共同で開発しました。